

ポスタータイトル：患者腫瘍移植モデル F-PDX を用いた抗がん剤の *in vitro* 評価

発表者氏名 高橋信彦<sup>1</sup>

共著者氏名 比嘉亜里砂<sup>1</sup>、土橋悠<sup>1</sup>、檜山源<sup>1</sup>、渡辺慎哉<sup>1</sup>、高木基樹<sup>1</sup>

発表者および共著者所属 福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

福島医薬品拠点化事業では、患者腫瘍組織の一部を免疫不全マウスに移植・継代して F-PDX (Fukushima Patient Derived Tumor Xenograft) を樹立してきた。F-PDX は、元の腫瘍の病理組織や遺伝子発現の特徴を維持しており、多発性骨髄腫を含む多様ながん種について 160 系統以上をラインナップしている。本発表では、F-PDX 由来の固形腫瘍細胞や造血器腫瘍細胞を用いた抗がん剤の *in vitro* 評価について紹介する。1 枚の 384 ウェルプレートで、抗がん剤 8 種類、公比 3、10 濃度、n=3 の評価をハイスループットの評価系を構築した。動物モデルでの評価の前に、*in vitro* で評価することにより、短期間・低コストで抗がん剤の薬効評価が可能である。

発表者 URL : <https://www.fmu.ac.jp/home/trc/>

発表者 :

